

ふれあい

平成23年5月 NO2 発行 門川町教育研究所 所長 新原とも子 TEL 63-1566 五十余川学校内(教育相談室)





新しい研究員がきまり、平成23年度の研究・実践がスタートしました。教育研究所は、今年も、家庭教育に役立つ情報を発信します!

委嘱状交付式

はじめに、本年度の6名の研究員に所長から委嘱状が交付されたあと、平木教

育委員長や大坪北部教育事務所長、赤木校長会長から、「門川町教育の向上のために先頭に立ってがんばってください。」という激励の言葉がありました。その後、門川中学校の酒匂研究主任が、「皆さん方の期待に応えられるように、研究員一同力を合わせてがんばります。」と、あいさつをしました。



平成23年度委嘱状交付式

本年度の課題

その後の第1回研究員会では、新原所長の講話やこれからの研究の進め方についての話合がありました。この中で、新原所長から、「門川町が

本年度最も力を入れる教育目標である、"生きる力をはぐくむ『確かな学力向上』の推進"のために努力してほしい。」という話がありました。

また、これからの研究の進め方では、学力向上のために授業を改善する研究やドリル学習の工夫についての研究などはできないだろうかといった、いろいろな意見が出されました。

本年度の研究員

*本年度の教育研究所の所員一同です。よろしくお願いします。



委嘱状交付式での研究員代表のあいさつ

職員	所 属	氏 名
所 長	教 育 長	新原とも子
事務局員	教育総務課	和泉昭子
研究指導員	教育総務課	山本逸馬
研究主任	門川中学校	酒匂慎一郎
研究員	門川小学校	岩崎淳
研究員	草川小学校	川崎利康
研究員	西門川小学校	仙田勝一朗
研究員	五十鈴小学校	三樹史朋
研究員	西門川中学校	須藤かおり

門川町の子どもの学力向上をめざして!

(門川町教育研究所は、学力向上のための情報発信や提言を行っています。)

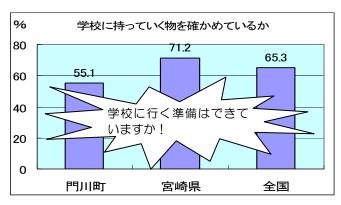
平成21年度全国学力・学習 状況調査から(門川町中3)

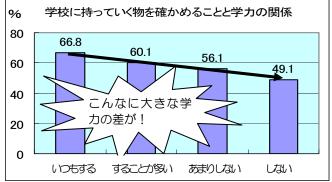
"学習習慣と学力には、深い関係があります" 学校に持っていく物を確かめる、授業の復習をする、計画を立てて 勉強をする、といった学習習慣が学力をつくります。



「学校に持っていく物を確かめる」

学習習慣の基本を大切にしよう!





門川町と宮崎県、全国で、学校に持っていく物を確かめている割合をくらべてみました。(中学3年) 県とくらべると 16.1%、全国とでは 10.2%低くなっています。学校に行く準備が、十分にできていない実態があるようです。

学校に持っていく物をいつも確かめる子どもは、そうでない子どもをくらべると、学力調査の正答率が17.7%も高くなっています。

学校に持っていく物を確かめることは、学習 習慣の中で最も大切な習慣で、学力を支える習 慣であると言えます。

教育研究所からのアドバイス

学校から帰ったら勉強をする、前日や登校前には学校に持っていくものを確かめる、などの学習習慣づくりに取り組むことで、確実に学力を伸ばすことができます。このような学習習慣が「あたりまえ」にできるようになることが、学力向上のポイントです。

○ あたりまえの学習習慣づくり 3つのポイント

ポイント1 勉強を中心とする生活づくりをしましょう。

ポイント2 毎日続けることを大切にしましょう。

ポイント3 遊びの約束をつくりましょう。

1学期は、学習習慣をつくる、 一番大切な学期です。家族の見 守りと協力で、学習習慣づくり に取り組みましょう。

子どもの教育や子育てで、悩んでいませんか?

困った時には、教育相談室に 気軽に電話をしてください。

相談電話(門川町教育相談室) 63-1566

~~~~返信欄 (「ふれあい」への返信がありましたら、担任の先生へお届けください。) ~~~~